

第4章 緑のまちづくり 基本的な考え方

4-1 基本理念

本市は、第六次総合計画で「暮らしやすさと幸せをつなぐまち かすがい」を将来像に掲げています。その思いは、市民の一人ひとりの心、人生を豊かにし、「暮らしを彩る」ことで感じられる幸せを、人から人、家族から地域、今から未来へつなぐことにあります。また、住みよく選ばれるまちとして、シティプロモーションを行っており、子どもたちや子育て世代、高齢者など、すべての世代の「暮らしやすさ」を実現するため、生活を支える安定した社会の構築とまちの魅力を高めることが重要であるとしています。

まちづくりにおける緑は、良好な都市環境や潤いのある市民生活を支える資産であり、本市が目指す将来像を実現するために必要不可欠な要素です。名古屋圏を代表する住宅都市として、計画的な市街地整備により発展してきた本市においては、今後の人口減少や高齢化等に対応し、豊かな自然環境と良好な住環境、活力を生む産業基盤の整備など、バランスの良いまちづくりを推進することが求められます。

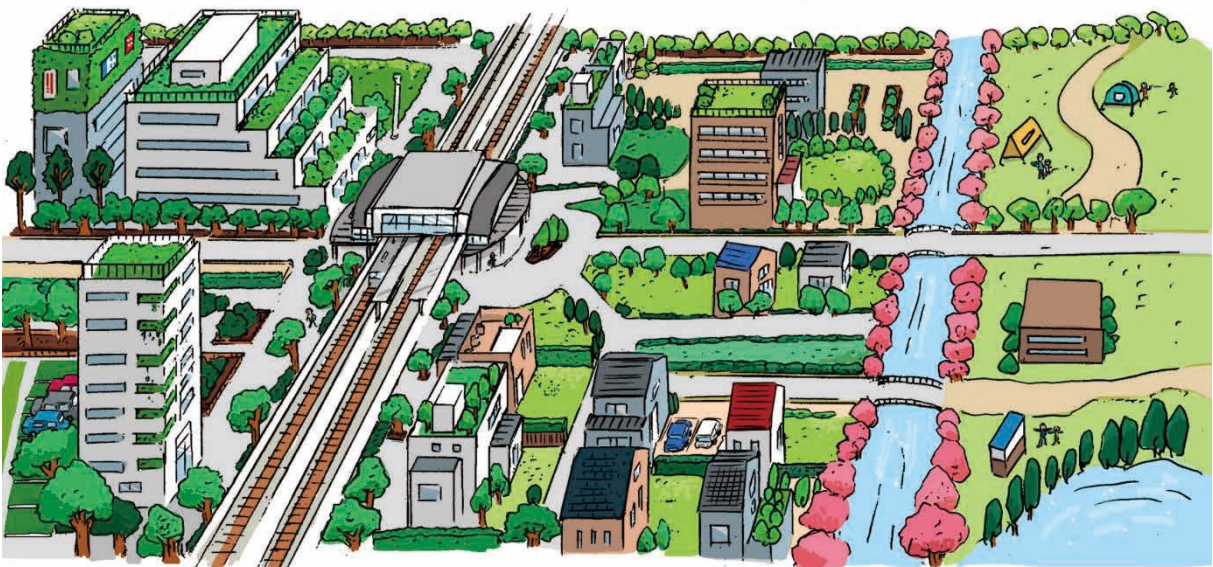
そこで、東部の丘陵地に広がる樹林地や河川・ため池など、身近に自然が感じられ、県下でも上位の公園・緑地面積を有する豊かな緑のストックを保全・活用し、次の世代へつないでいきます。

さらに、緑の質の向上を図り、市民の暮らしをより豊かにする緑づくりを、多様な主体と連携・協働して推進します。

これらを踏まえ、本計画の基本理念を以下のように掲げ、緑のまちづくりに関する諸施策を展開します。

【基本理念】

まちと調和し暮らしを彩る かすがいの緑づくり
 ～Life with Green～



4-2 緑のまちづくり 将来像

本計画の基本理念に基づく、「緑のまちづくり 将来像」は、①緑のゾーン、②緑の拠点、③緑の軸の3要素で構成し、その実現を目指します。

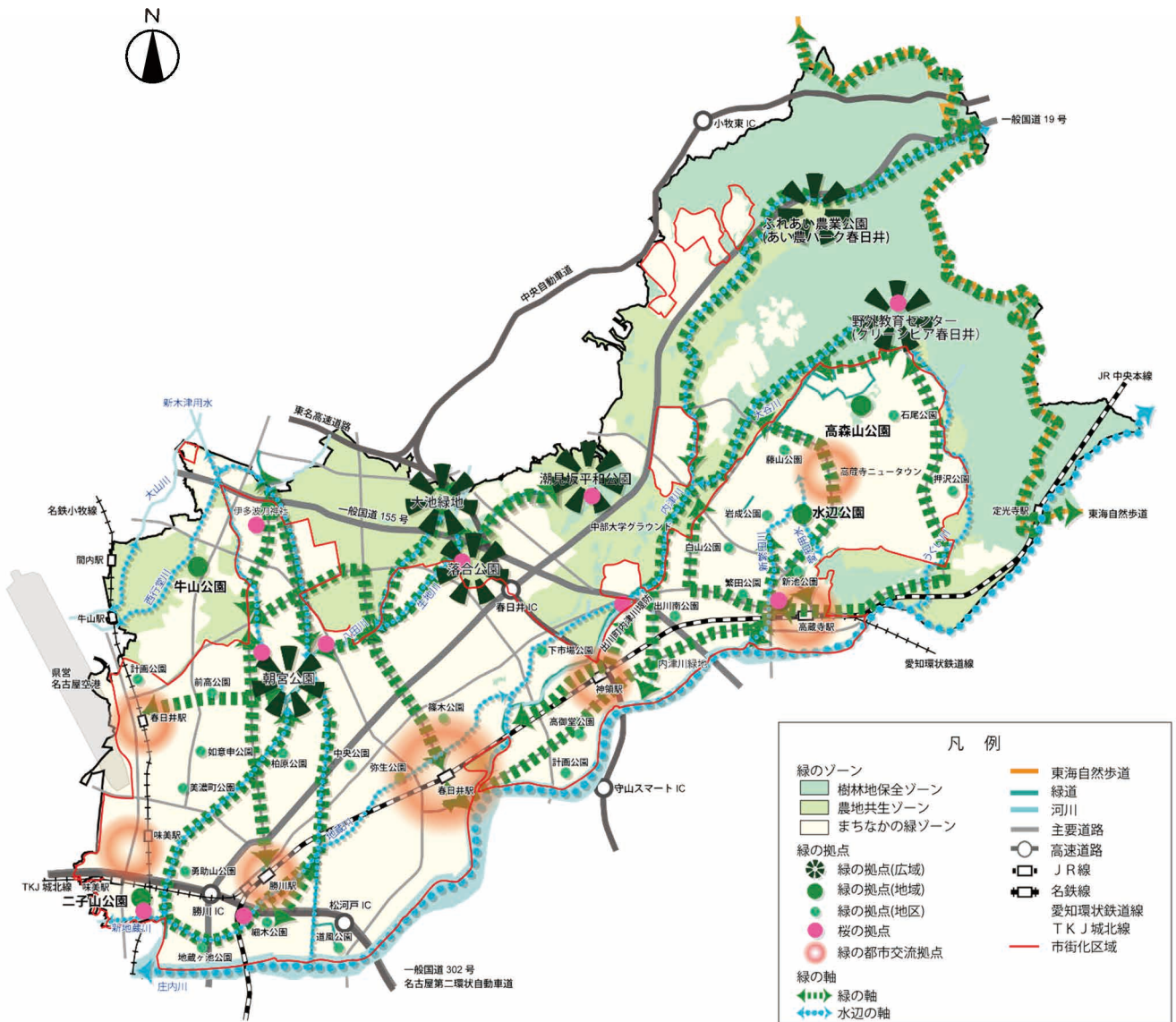


図4-1 緑のまちづくり 将来像図

4-2-1 緑のゾーン

「緑のゾーン」は、樹林地保全、農地共生、まちなかの緑の3つのゾーンで構成し、各々を以下のように位置づけます。

(1) 樹林地保全ゾーン

本ゾーンは、東部丘陵地を中心に広がる、自然公園や地域森林計画対象民有林等に指定されたエリアです。ゾーン内は、希少な動植物が生息する豊かな樹林地や水辺となっており、水源かん養、防災等多様な機能を有するとともに、連続性のある緑のスカイラインを形成しています。

これらの豊かな緑の環境と景観を保全し、次代へ継承していきます。

(2) 農地共生ゾーン

本ゾーンは、市街地の周辺に広がる農業振興地域の農用地を中心とするエリアです。本ゾーンは、農産物の生産の場であるとともに、防災機能や環境保全機能、美しい景観形成等多面的な役割を果たし、緑のまちづくりに潤いをもたらしています。

農地の保全・活用に努め、良好な都市環境の形成を図ります。

(3) まちなかの緑ゾーン

本ゾーンは、計画的に整備された市街地のエリアで、主要な公園・緑地や緑道、街路樹が整備されています。

公園施設の老朽化対策や地域に応じた街路樹の維持管理等緑の質の向上を図るとともに、住宅をはじめとした民有地の緑化を推進し、市民の生活をより豊かにすることを目指します。

4-2-2 緑の拠点

「緑の拠点」は、広域、地域、地区レベルとし、さらに、本市における緑のまちづくりの象徴的な拠点として、桜の拠点、緑の都市交流拠点を位置づけます。

(1) 緑の拠点（広域）

本拠点は、市域を超える広域の利用ニーズに応え、緑のまちづくりの最重要拠点と位置づけます。

これらは、緑のネットワークを形成する起終点や中継点としての役割を果たし、それぞれに、レクリエーションや防災、歴史・文化など、拠点の特性に応じて複数の機能を有しています。

(2)緑の拠点（地域）

本拠点は、主に徒歩圏内の地域住民が利用する拠点であり、広域拠点を補完する市内各地域における緑のまちづくり拠点と位置づけます。

これらは、防災拠点や歴史公園、自然豊かな公園など、立地環境を活かした特徴的な公園となっており、その保全・活用を推進します。

(3)緑の拠点（地区）

本拠点は、主として近隣に居住する住民の憩いの場と位置づけ、施設の維持管理・運営等において住民が主体的・積極的に関わられるような取組みを推進します。

(4)桜の拠点

市の花である桜は、本市の歴史・文化と一体となった地域資源であることから、春には満開の桜が楽しめる公園等を桜の拠点と位置づけ、積極的に保全を図ります。

(5)緑の都市交流拠点

「立地適正化計画」において都市機能誘導区域に位置づけられた駅周辺等においては、オープンスペースや街路樹等の緑の施設の集積や更新が期待されることから、緑の都市交流拠点として、民有地を含む緑化を促進する等の環境整備に取り組みます。

4-2-3 緑の軸

「緑の軸」は、緑の拠点を結び、ウォーキング等のレクリエーションや防災・減災、動植物の生息、生育、移動空間など、多様な機能を持つ緑のネットワークであり、緑の軸、水辺の軸の2つの軸として位置づけます。

(1)緑の軸

本軸は、ふれあい緑道等の緑道、内津川緑地等の線的な緑地、緑の都市交流拠点を結ぶ街路樹ネットワーク、桜並木が連なる桜の散歩道で構成します。

ここでは、市民が緑の環境や景観を楽しみながら、散策や休憩ができるような環境整備に取り組みます。

(2)水辺の軸

庄内川をはじめ内津川や八田川等の河川や新木津用水等の用水路は、市民が身近に水辺と緑を感じられる親水空間であり、水辺の生態系ネットワークや良好な景観を形成しています。

こうした主要河川等は、今後とも水と緑にふれあえる、憩いと安らぎの場として、緑の軸と連携しながらネットワークの環境保全、活用に取り組みます。

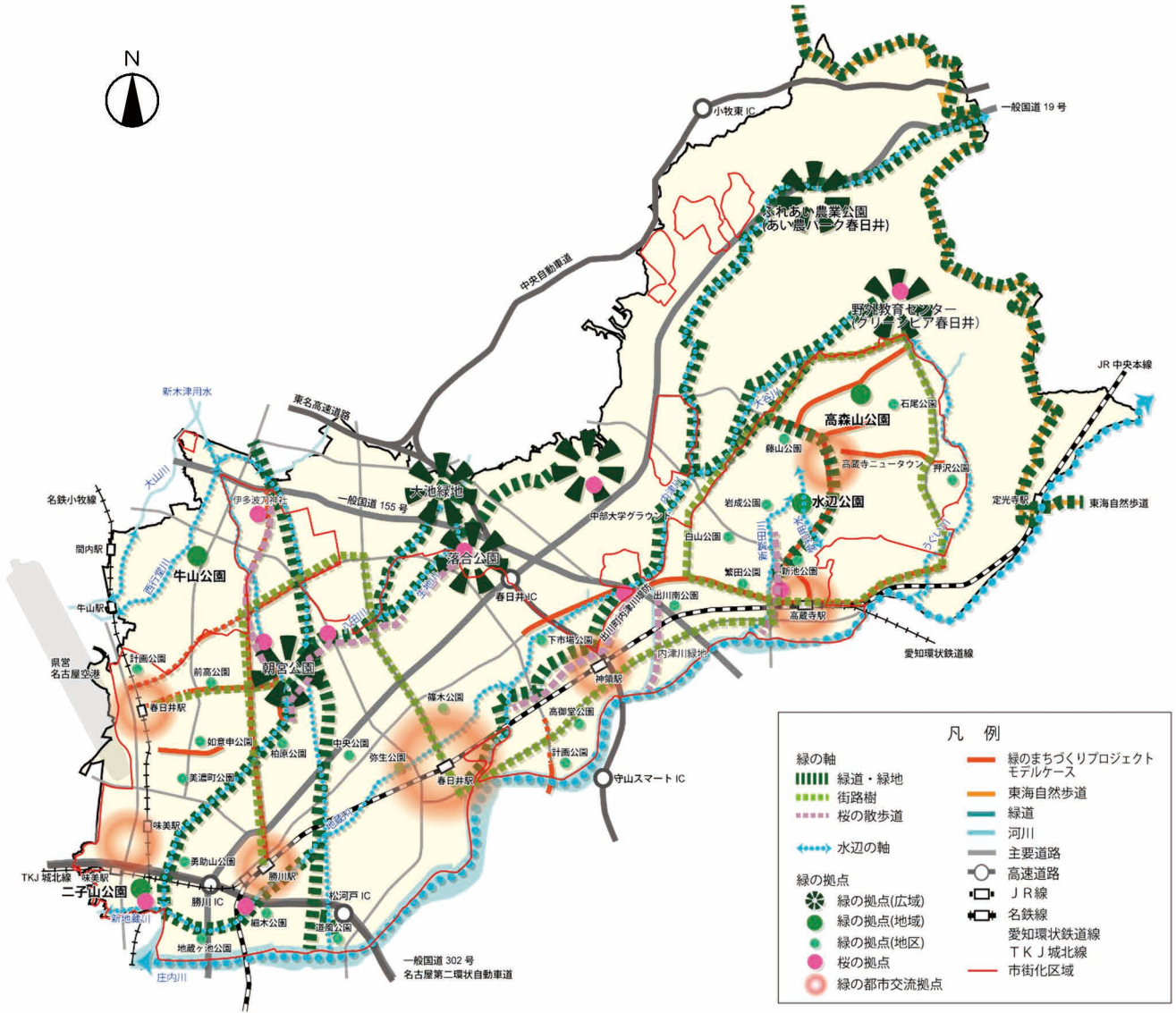


図 4-2 緑の軸・拠点 配置計画図

- 第 1 章
- 第 2 章
- 第 3 章
- 第 4 章
- 第 5 章
- 第 6 章
- 第 7 章
- 付 属 資 料

4-3 基本方針と目標

緑のまちづくり将来像の実現に向け、基本理念「まちと調和し暮らしを彩る かすがいの緑づくり～Life with Green～」のもとに、4つの基本方針を設定します。

本市で育まれてきた緑を「まもる」こと、将来の春日井市に望まれる緑を「つくる」こと、市民の生活をより豊かなものにするため、より質の高い緑へ「かえる・たかめる」こと、緑を活用することで人と人とのつながりやにぎわいを「つなぐ」とします。



図 4-3 4つの基本方針

【基本方針1 まもる】 美しく豊かな環境をまもる

東部の丘陵地に広がる樹林地や庄内川をはじめとした河川・ため池等の豊かな水環境は、生物多様性を育む基盤となり、良好な景観を形成しています。

また、社寺の庭園や森、古墳や保存樹など、市の歴史・文化と一体となった緑の景観・環境が随所に残されているほか、本市の花である桜の名所が市内に多数あり、季節を彩っています。

さらに、本市の一人当たり都市公園面積は全国平均を上回り、県内でも上位の値となっています。

これらの豊かな緑のストックを今後も保全・活用し、次の世代へ継承していきます。



■基本方針1 に対する目標

- ・市内全体の緑被率を維持：42%（2014年）⇒42%
- ・桜の保全：弘前方式の導入を増やす 20本（2019年）⇒500本

※弘前方式：青森県弘前市のりんご栽培の歴史に裏付けられた、樹木の維持管理方法のこと

【基本方針2 つくる】 暮らしの豊かさをつくる

日常生活の中で市民の憩いの場となる公園・緑地においては、散歩・休憩等のリフレッシュや子どもたちを遊ばせる施設の整備が望まれています。

また、自宅のバルコニーや庭を積極的に木や花で飾ることで緑の取組みに参加したいと考えている市民が多く、生活の中に緑を取り入れたいというニーズがあります。

市民の日常の暮らしがより豊かなものとなるよう、土地区画整理事業地における都市公園の整備や、市民の身近な緑づくりを支援する取組みを推進します。

■基本方針2 に対する目標

- ・市街化区域内の公園配置率を高める：約79%（2019年）⇒約81%
- ・民有地緑化の箇所数を増やす
：あいち森と緑づくり事業（緑の街並み推進事業）実施箇所 5か所



【基本方針3 かえる・たかめる】 安心と魅力をたかめ地域に愛される

供用後数十年が経過する公園施設の老朽化や、街路樹等の巨木化による交通安全上の課題が顕在化しています。

利用者の安全対策としての公園施設の更新や、景観に配慮した街路樹等の維持管理、多様な市民のニーズを踏まえた特色ある公園づくりなど、緑の質と公園・緑地に対する市民の満足度の向上を図る取組みを推進します。



■基本方針3に対する目標

- ・魅力ある街路樹の維持管理を導入する：10路線
- ・公園・緑地に対する満足度の向上：約57%（2020年）⇒60%

【基本方針4 つなぐ】 人と人、にぎわいをつなぐ

市民による緑化活動や公園の清掃・美化活動、地元町内会等による公園の維持管理など、緑のまちづくりへの参加者が高齢化等により減少しています。

子どもや若い世代等幅広い市民が緑のまちづくりに参加しやすくなるように、緑に関する情報の提供や活動の支援、担い手の育成など、市民との協働の取組みを推進します。



■基本方針4に対する目標

- ・アダプト・プログラム等緑に関する団体を増やす
：アダプト・プログラム参加団体数 12団体（2019年）⇒15団体
- ・公園・緑地づくりのワークショップの実施数を増やす：10公園